

数十年に一度の開花

香陽小のアオノリュウゼツラン



数十年に一度だけ、花茎が生長し開花するといわれるアオノリュウゼツランが7月下旬、香陽小学校で咲きました。中南米原産の多肉植物で、5月上旬から一気に伸び始め高さ約6mに。7月初めごろには黄色い花をつけました。生育場所の正門横では珍しい花を一目見ようと

訪れる近隣住民の姿も。教頭の野中貴也さん（46歳）は「昨年創立50年を迎えたので花を添えてもらったようだ」と話していました。

みんなが考える枚方の魅力は？

香陽小3年が市長にオンラインインタビュー



7月8日、香陽小学校3年生がオンラインで伏見市長にインタビューしました。同校では、他市の同級生に枚方の魅力をPRすることを目標に「調べ学習」を実施。ビデオがつながると子どもたちから歓声が沸きました。「枚方の魅力はどんなところですか」という質問に伏見市長が「みんなはどう思う？」と返すと、利光由衣さんは「お父さんとよく行くTサイト！DVDを借りたりパンを食べたりするのが楽しい」と笑顔で答えました。

目指すは全国制覇！

やまひがファイターズ結成4年で初出場



ドッジボールチームの「やまひがファイターズ」が7月の全日本ドッジボール選手権大阪府大会で優勝し、8月12日に初の全国出場を市長へ報告しました。山田東・山田小学校の児童を中心に4年前に結成。当初は全く勝てない日々が続いたものの知識と経験を蓄えてつかんだ切符に、キャプテンの吉田陽太さん（12歳・写真右から3番目）は「目指すは全国制覇！」と意気込みました。全国大会は11月27日に茨城県で開かれます。

パラの聖火はどこから来る？

桜色のトーチを市役所などで展示



桜色に輝く東京パラリンピック聖火リレートーチが7月18日に総合スポーツセンター、19日に市役所別館で展示され、延べ約660人が訪れました。平田小夏さん（19歳・写真右）と岡本沙月さん（15歳・同右から2人目）は、地域の壁新聞の取材で市役所を訪れ「聖火はどこから来るんですか」など熱心に職員に質問。「太陽光を集めて火を起すなど全国各地の火が東京に集められ、枚方市でも8月に採火します。」の説明に2人とも驚いた表情でした。

話題のニュースやイベントなどを紹介！

ま
ち
の
話
題



「青空へ向かって伸びる秋桜」

今月号の表紙写真は、津田南町在住の森島 智史さん（33歳）が一昨年、穂谷のコスモスの里で撮影。「広大なコスモス畑があるときいて初めて訪れました。元気に伸びるコスモスの花が清々しい気持ちにさせてくれます。深い青空とのコントラストが美しい白い花を主役にしました。」



動物の写真大募集！

市内の風景と一緒に写った動物の写真を募集しています。▶応募 電子メールに住所・氏名（ペンネーム希望の場合はペンネームも）・年齢・電話番号・電子メールアドレス、写真の説明を書いて写真データを添付し広報プロモーション課（☒kouhou@city.hirakata.osaka.jp）へ。

※応募作品は市公式のフェイスブックやInstagramで公開します。

8組のボクサーが枚方で激突!

8月8日、市と「ひこぼしフレンド協定」を結ぶグリーンツダボクシングジム主催で全8試合のボクシングマッチ「CRASH BOXING」が総合体育館で開催されました。試合ごとのリングの消毒など新型コロナ対策を徹底した上で行われました。



左ストリートを繰り出す奥本選手(写真右)。

KO宣言にピリッ! 前日計量を生配信

試合前日の8月7日、市役所で出場選手の計量を行い、YouTubeの市公式アカウントから生配信しました。各ジムの関係者が見守る中、選手16人が規定の体重をクリア。対戦する選手同士がカメラの前でにらみあい、「1ラウンドでKOします」など意気込みを語ると会場は独特の緊張感に包まれました。



元王者の勝利を観客が拍手で祝福

会場では声を出しての応援が禁止されていたため、パンチが当たると客席からは大きな拍手が。6試合目の後には同ジム会長・本石昌也さんの市PR大使就任式が執り行われ、本石さんは「自分を育ててくれた街に貢献したい」と話しました。メインでは、同ジム所属で元日本スーパーフライ級王者の奥本貴之選手(29歳)が3-0の判定勝ち。奥本選手は「スカッとKOしたかった。必ずまたチャンピオンになります」と次戦も勝利を誓いました。



▲小学6年生で出演した「ヤマハエレクトーンフェスティバル」。2歳頃から光善寺の大東楽器でエレクトーンを習い始め、音楽の基礎を身に付けました(平成28年)。



▲中学3年生の時には淀川河川敷で開かれた水都音楽祭2019に出演。初めてのバンド活動は貴重な経験でした(令和元年)。



▲ヒカルと淀川河川敷で。大好きすぎて、ベースはヒカルの毛並みをイメージしたオーダーメイドです。

枚方 思い出の1コマ

ひらかたかぞく

家族

枚方ゆかりの著名人の皆さんが秘蔵の写真とともに思い出を語ります。

第42回 アヤコノさん



アーティスト。自称「ただの17歳」。ベースやエレクトーンを演奏するカバー動画がSNSで話題になり、ツイッターのフォロワーは約4.8万を超える。NHK Eテレ「ムジカ・ピッコリーノ」をはじめ、「ミュージックステーション」などテレビ出演のほか「フジロックフェスティバル'21」に出演が決定するなど活躍中。

家族との大切な思い出を胸に上京

枚方で生まれ育ち、3月に上京しました。父とパナソニック パンサーズの試合観戦に行ったり、母と夕方の河川敷を散歩して愛犬の「ヒカル」と遊んだり、枚方は家族との思い出がたくさん詰まった大好きなまちです。

ベースに出会ったのも枚方の楽器店で、「ブーン」という音の響きに夢中になりました。これからも成長して、地元にいる大好きな家族や応援してくれている人たちに恩返しできたらいいなと思います。

編集後記



健診特集で上田さん取材。健康管理で間食はしないそうですが、「頑張った時にだけご褒美で食べるポテトチップスう

すしお味は格別!」と話す笑顔が素敵でした。あなたも時には息抜きしながら、健康づくりに取り組んでいきましょう!